

# TOKYO

## MICEサステナビリティ ガイドライン

～持続可能なMICE開催に向けて～



# TOKYO MICE Sustainability Guidelines

## はじめに

世界は今、地球温暖化に伴う気候変動や資源の枯渇など人類社会共通の課題に直面しています。グローバル化の進展に伴い、こうした課題に対して、国の垣根を越えて取組む動きが加速しています。具体的な取組としては、2015年のCOP21で採択された気候変動における国際的枠組である「パリ協定」や同年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」などが挙げられます。

こうした世界の動きは、日本政府や東京都にも大きな影響を与えています。政府はSDGs推進本部を設置し「SDGsアクションプラン2019」を策定しました。地方自治体や民間企業に対しても積極的な取組を促しています。一方、東京都は「2020年に向けた実行プラン」の中で、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進、フードロスの削減などの取組を推進しています。

MICE開催では多くの人やモノが移動し、開催地においても多くの資源が消費されることから、環境へのマイナスの影響を与えているといわれています。こうした課題に応えるため、海外では、様々な取組が進んでいます。ロンドンオリンピック・パラリンピックを契機に、イベント運営における環境影響管理を目的としたISO20121が発行され、その後、イベント産業におけるサステナビリティ(持続可能性)をサポートするマネジメントシステムとして広く浸透するようになりました。また近年、スカンジナビア地域の都市が中心となりMICE開催都市の持続可能性を格付けするGlobal Destination Sustainability(GDS)-Indexが開発され、現在では世界47の都市がその取組に参加しています。さらに、国際団体やグローバル企業などは会議などの開催都市選定の際に、会場やアクセス、観光魅力などの従来の基準に加えて、持続可能性も重視するようになってきました。

このような背景のもと、東京はMICE開催都市としての国際競争力を強化するために、MICE主催者や都内のMICE関連事業者を対象とした「MICEサステナビリティガイドライン」を策定しました。本ガイドラインはISO20121を参考にした世界水準のガイドラインである一方で、初めて持続可能な会議・イベントなどの運営に取組む方にとってもわかりやすい内容としています。世界ではスタンダードとなりつつある持続可能なMICE開催のための実用的なツールとして活用できます。

## 目次

■ 持続可能なMICE都市・東京を目指して	1
■ 海外からのメッセージ	2
■ 「持続可能性」とは	3
■ 本ガイドラインが目指すもの	5
■ チェックリストの概要	6
■ 各チェックリストの項目と取組み例	8
1. 管理と教育	9
2. 調達	13
3. エネルギーと水	17
4. 廃棄物	20
5. コミュニティ（地域社会）	23
■ チェックリスト	26
主催者	27
会場	29
宿泊	31
飲食	33
輸送	35
■ 用語集	37



## 持続可能な MICE都市・東京を目指して

公益財団法人 東京観光財団  
理事長 前田 新造



日本の政治・経済の中心である東京は、MICE開催都市として必要な条件と魅力を備えています。利便性の高い国際会議施設、多様な宿泊施設、海外都市からの良好なアクセス、高度に発達した交通網など、MICE主催者が重視するインフラが充実していることに加えて、伝統文化やポップカルチャー、バリエーション豊富な食、多摩や島しょの自然などMICE参加者にとっても魅力的な資源が整っています。

近年、国際団体やグローバル企業において持続可能性への関心が高まる中、海外のMICE先進都市ではこのトレンドをいち早く捉え、必要な対応を始めています。シンガポールやバンクーバーは、持続可能性に関するガイドラインを作成し、コンベンションビューローのウェブページで公開しています。また、スウェーデンのヨーテボリでは、持続可能性専門家派遣制度を整えるほか、環境認証を取得したホテルや施設をウェブ上で紹介しています。こうした取組は持続可能な都市としてのブランディングにも役立っています。

東京がMICE都市としてさらなる発展を遂げるためには、国内のMICE主催者とMICE業界が一体となり、持続可能なMICEの開催を推進していく必要があります。このガイドラインに示されるような持続可能性への取組は、世界に向けてMICE開催都市としての東京と、東京で開催される会議をより魅力あるものとして輝かせるための大きな力となると確信しています。

## 海外からのメッセージ

フィオナ・ペラム

Fiona Pelham

ISO20121議長、旅行業界の価値連鎖を変革させるための国連環境専門家グループメンバー。持続可能性の観点でイベントに取組むことにつきリーズ・ベケット大学より名誉博士号授与。MPI (Meeting Professionals International) の国際理事会元議長、Positive Impact Events CEO。



国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の発表、それを踏まえた目標達成に向けた世界各国政府と産業界による活動は、持続可能性 (サステナビリティ) の概念を、「選ぶもの」から「必要であるもの」へと変化させました。私たちが目標を達成するまでの時間は限られており、ミーティング・イベント業界は、行動することを世界に促し、力強く推進する上で大きな役割を果たします。

持続可能性という言葉は、「経済活動、環境的責任、及び社会的発展に向けた持続的でバランスの取れたアプローチ」を意味します。イベント専門家が持続可能性という言葉を目にした時、多くは、「自分が取るべき行動は何か」とまず自問することでしょう。イベントは多種多様なため、取るべき行動を一元的にリスト化することは困難だからです。

また、イベント専門家がこの問いかけで見落としがちですが忘れてはならないことは、イベントは人々を結集させ革新と創造をもたらす機会であるということです。このことはSDGsにおける17項目を達成するためには必要なことです。

ISO20121は持続可能性の土壌を育む有効な方法を、GRI EOSS (Global Reporting Event Organiser Sector Supplement) はその報告の枠組を、そしてSDGsは取組むべきテーマを提供します。イベント業界には、行動を起こすための枠組がいくつもあり、歴史的に必要とされる今まさにリーダーシップを発揮します。

イベントの計画に対して持続可能なアプローチをとる利点は、参加者の関与を高めることから、地球に与えるマイナスの影響を軽減することまで多岐にわたります。政府及びグローバルビジネスの戦略が、SDGsを達成するための行動をサポートし、イベントにおいては水利用・廃棄物・エネルギー削減・現地コミュニティの関与に向けた行動を取ることにより、さらに多くのイベント専門家が政府や産業界の

優先課題の解決に賛同しつつあります。近年、多くの持続可能性の動きが起こり、以下に示すように、世界のイベント業界に影響し始めました。

1. プラスチック製品利用によるマイナスの影響を抑えるための、産業界の垣根を越えた世界的なキャンペーン。
2. イベントを計画する際の人権考慮に関するUNICEFのガイドラインやUNFCCCの炭素測定システムを含め、イベント業界をサポートするための国連組織による資料の発表。
3. プラス・マイナス双方の観点からのイベント測定を重視する傾向。これらの測定値は、例えば出張や会議など物理的移動に置き換わるテクノロジーの活用を提案しているIPCC気候変動報告書など、近年増えてきているガイダンスにおいても求められています。

国連のSDGs推進に向けて行動することは、クリエイティブであり多様な人々と協働する機会です。また、誰にとっても役立つ世界を作るために、イベントごとに異なる持続可能な行動を自らの言葉で伝える機会でもあります。人々は、地球及びコミュニティにプラスの影響を与える自分たちの可能性に次第に気づきはじめ、それに伴って、持続可能な選択を行うようになります。SDGs達成にイベントを利用できることを業界関係者一人ひとりが認識した時、イベント業界の成長を期待できるのです。

ISO20121などの枠組を用いてSDGsをどのように達成するか、日本のイベント業界にとって、今が世界を牽引し、行動を起こす良い機会です。2020年オリンピック・パラリンピックを主催する日本に世界の目が向く今こそ、革新性と創造性、そしておもてなしが、すべての人にとって有益な世界を作り出せることを示す時です。

## 「持続可能性」とは

持続可能性とは、「将来の世代の人々が自らのニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすために、環境、社会及び経済のバランスを実現すること<sup>(1)</sup>」の意味で使われています。

持続可能な取組とは、特定組織の関心だけでなく、経済・環境・社会の3つの側面を含むより広範な関心から総合的発展を目指す活動を指します。このような考え方を「トリプルボトムライン」と呼び、図1は、事業活動や社会などとの関係を通じてもたらされる3つの側面について説明しています。

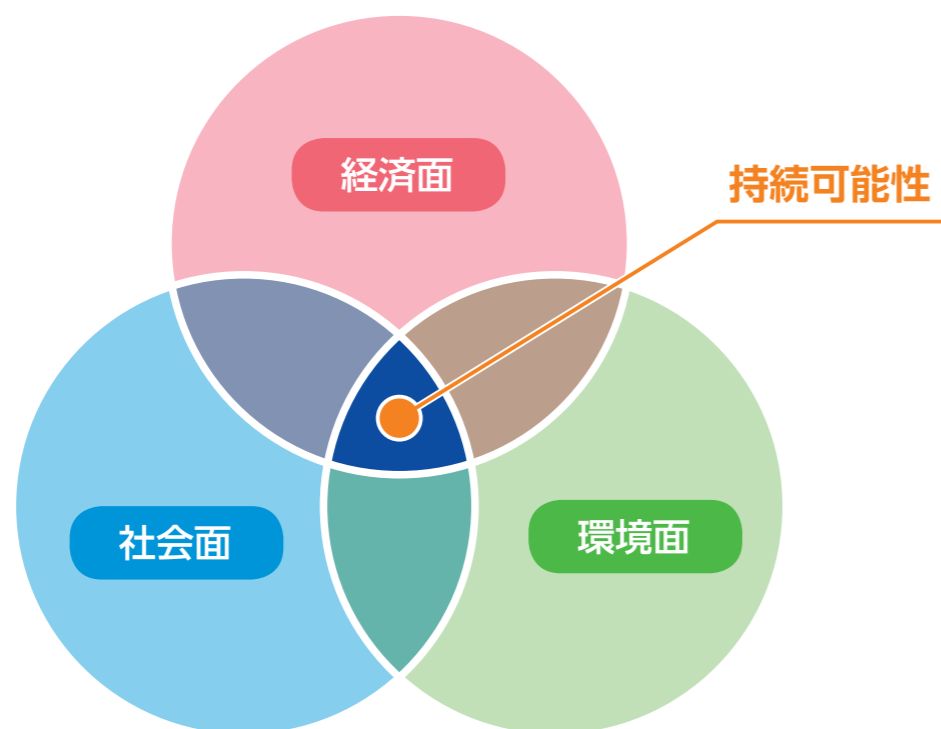


図1：トリプルボトムラインと持続可能性の関係

それでは、具体的に組織やMICE<sup>(2)</sup>主催者が経済・環境・社会の側面から考えうる持続可能な取組として、どのようなものがあるのでしょうか。

### 経済面

組織や企業として安定した運営・経営をするだけでなく、利潤を社会へ還元することや経済波及効果をもたらす事業運営など、地域経済でも存在感を得られることが重要です。サービス品質の確保や経済活動における透明性、地域での調達、さらにはコンプライアンス重視などが含まれます。MICE開催においては、主催者にはその収支均衡だけでなく、地域経済に対する経済波及効果での貢献にも期待が集まっています。

### 環境面

脱炭素社会を目指してエネルギー利用を抑えること、環境に負荷をかけない取組を行うことが重要になっています。例えば、太陽光や風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用促進、持続可能に係る第三者認証を受けた素材の利用などの取組が挙げられます。MICE開催においては、電子化の推進やエネルギー・水資源の節約、廃棄物を減らす取組のほか、環境負荷の少ない会場選びや、会議やイベントで使用する様々な調達品への配慮、フードロスへの対応など多様な取組が該当します。

### 社会面

ジェンダー・年齢・国籍・障がいの有無・経歴などを問わず受容する「ダイバーシティの尊重」が重視されています。また、「ユニバーサルデザインの向上」による誰もが過ごしやすい環境づくり、ボランティア活用や寄付活動などの「地域とのコミュニケーションや社会貢献活動」にも関心が集まっています。MICE開催においては、ダイバーシティに配慮した雇用や待遇、ユニバーサルデザインを意識した制作物の作成、ボランティアの参画促進、寄付やNPOとの協働などの社会貢献活動が該当します。

各組織や関係者がこうした取組について考え、自らの活動に反映していくことが求められており、これらに対応する知見の蓄積、体制整備や組織内での教育、外部に向けた情報発信が必要となります。MICE開催においても関連する主体それぞれがリーダーシップを発揮して関係者を巻き込み、持続可能な取組を目指すことが期待されています。

(1) 引用元 Our Common Future (United Nations, 1987)  
日本工業規格 JIS Q 14001:2015 (ISO14001:2015)

(2) MICEとはMeeting (企業系会議)、Incentive (企業の報奨・研修旅行)、Convention (国際会議)、Exhibition/Event (展示会・イベントなど)の頭文字を取った総称

## 本ガイドラインが目指すもの

- 1 持続可能な観点から求められる具体的な取組み内容を把握し理解する
- 2 自組織や主催するMICEの持続可能性レベルを知る
- 3 主催者が持続可能なMICEを実施する際の指針を策定する
- 4 イベントを継続して開催する場合は次回への改善につなげる
- 5 具体的な取組についてMICE関係者へ共有する
- 6 持続可能なMICE開催への取組として発信する
- 7 組織内の体制を整備し意識を喚起する
- 8 国際規格であるISO20121<sup>(3)</sup>など高度な第三者認証の取得に向けた契機とする

東京が国際的な誘致競争で選ばれる都市であり続けるには、持続可能な取組を浸透させ、MICE開催の付加価値を向上させることが求められます。






(3) ISOとはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構) の略称  
ISO20121とはイベント運営における環境影響の管理に加えて、経済的・社会的影響についても管理することで、イベントの持続可能性をサポートするためのマネジメントシステムの国際標準規格

## チェックリストの概要






### 01 対象となる主体

MICE開催において主要な役割を担う関係者を5つの主体(主催者・会場・宿泊・飲食・輸送)に分けました。各主体は具体的に次の方々を想定しています。

参加者については主催者が意識啓発を行うことで、持続可能な取組に関わることを想定しています。

 主催者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MICEを主催する組織</li> <li>● 主催者の業務を代行する事業者(PCO・広告代理店・DMCなど)</li> <li>● 主催者や主催者の業務を代行する事業者などがその影響力を行使してコントロールできるサプライヤー(例: 設営/施工、デザイン、印刷、レンタル機器(音響・照明・映像など)、ウェブ制作、システム構築、グッズ制作/物品調達、人材派遣など)</li> </ul>
 会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンベンション施設、展示・イベント施設、宴会場を有するホテルなどの事業者</li> </ul>
 宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホテル・旅館などの事業者</li> </ul>
 飲食	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会場内外のレストラン・ケータリング・屋台(キッチンカー)などの事業者</li> </ul>
 輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客輸送(航空・鉄道・バス・タクシー・ハイヤー)、物流などの事業者</li> </ul>

### 02 取組の分類

分類	代表的な取組み例
 管理と教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織における仕組(方針・体制・制度など)の整備</li> <li>● マネジメントシステムの導入</li> <li>● 条例への対応</li> <li>● 祈禱室の用意など宗教的思考や慣習への対応</li> <li>● ハラルやベジタリアンへの対応</li> <li>● 他言語対応 など</li> </ul>
 調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能性に配慮した製品・サービスの購入</li> <li>● ゼロエミッション・ビークルの導入</li> <li>● 地産地消メニューの開発 など</li> </ul>
 エネルギーと水	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 節電や節水</li> <li>● シェアリングエコノミーサービス</li> <li>● 雨水利用</li> <li>● エネルギー効率に関する認証の取得</li> <li>● フールビズ・ウォームビズの奨励 など</li> </ul>
 廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分別ゴミ箱の設置</li> <li>● 電子化の促進</li> <li>● フードロスの削減 など</li> </ul>
 コミュニティー(地域社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域アトラクションの実施</li> <li>● 地域産のギフトやノベルティの活用</li> <li>● 地域への寄付・寄贈・支援</li> <li>● ユニバーサルデザインの向上</li> <li>● ダイバーシティの尊重</li> <li>● レガシーの創出 など</li> </ul>

## チェックリストの概要

### 03 チェック内容のレベル分け

チェックリストの項目ごとに、2段階のレベル分けを設定しました。

#### ベーシック

持続可能なMICE開催のために優先して取り組むべき項目です。組織全体で取り組む内容よりも、担当者など現場や関係者レベルで取り組むことが可能な内容が多く含まれます。

#### ハイレベル

ベーシックに比べて難易度の高い項目です。また、自らの組織内においてルールや仕組みなどの策定・改変が必要となるなど、組織全体を巻き込む必要がある項目が多く含まれます。一方で、この項目が達成できるとISO20121の要求項目の一部にも対応できます。

### 04 取組と成果

持続可能なMICE開催を実現するために、組織としてはまず、「管理と教育」に取り組むことで仕組みづくりをし、そして、「調達」「エネルギーと水」「廃棄物」に取り組むことで環境負荷をできるだけ小さくします。さらに、「コミュニティー（地域社会）」へは可能な限り大きな貢献を目指します。これらに取り組むことで、持続可能なMICE開催について成果を最大化することが期待できます。以上のような取組と成果の関係は、図2のように表されます。

持続可能なMICE開催の成果は、各主体が取組を実践することで生まれます。これは、学術的な貢献や経済波及効果だけでなく、参加者の意識啓発や開催地域の事業者や住民などへの啓発にも良い影響を与えます。大切なことは、MICE開催に伴う環境負荷やマイナスの影響を最小限に抑え、経済的効果・環境的効果・社会的効果を含めた広義の「成果」の最大化を図ることです。

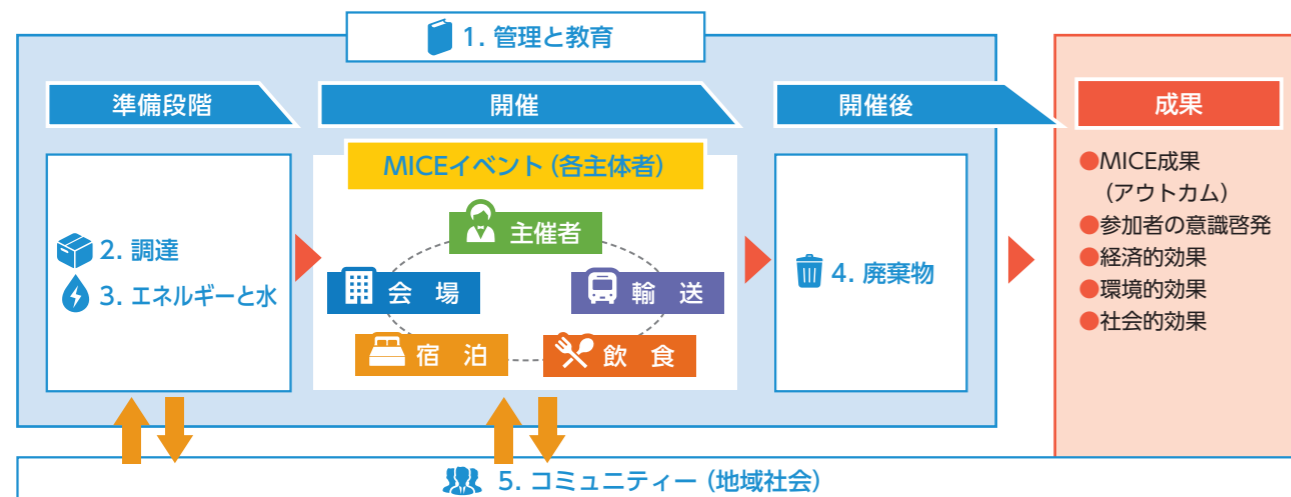


図2:主体と分類、成果の関係性を表した図

## 各チェックリストの項目と取組み例

本ガイドラインの活用にあたり、用語解説を交え、各チェックリストの項目をクリアするための事例を紹介します。

チェックリストへ取組む際に具体的な事例を確認できます。

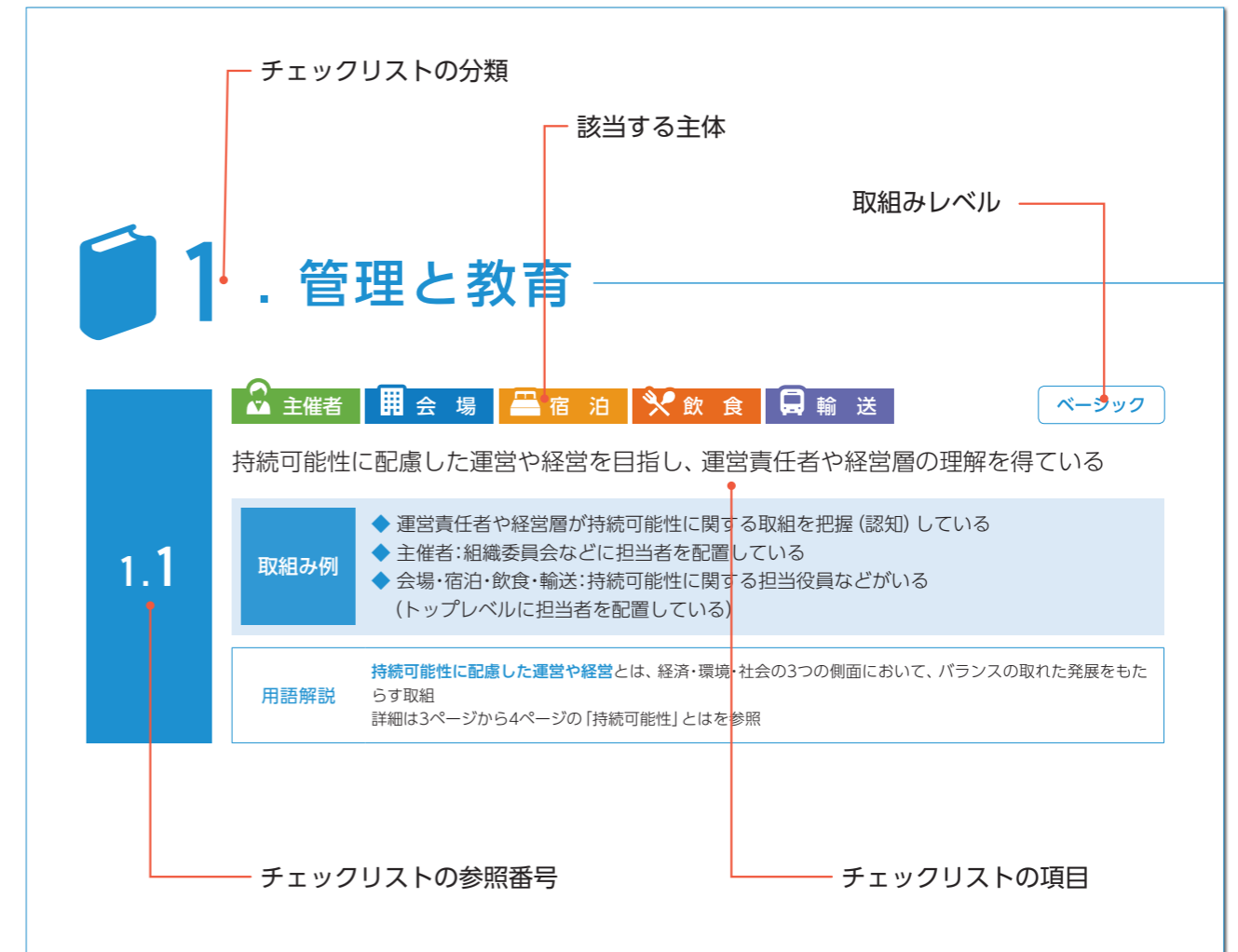


図3:各項目と取組み例

## 1 . 管理と教育

1.1 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ベーシック

持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている

**取組み例**

- ◆ 運営責任者や経営層が持続可能性に関する取組を把握（認知）している
- ◆ 主催者：組織委員会などに担当者を配置している
- ◆ 会場・宿泊・飲食・輸送：持続可能性に関する担当役員などがある（トップレベルに担当者を配置している）

**用語解説**

持続可能性に配慮した運営や経営とは、経済・環境・社会の3つの側面において、バランスの取れた発展をもたらす取組  
詳細は3ページから4ページの「持続可能性」とはを参照

1.2 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ハイレベル

持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある

**取組み例**

- ◆ 主催者：イベント運営の責任者が持続可能性に配慮した運営を決定し、国内外に宣言する
- ◆ 会場・宿泊・飲食・輸送：経営方針や計画に盛り込み、国内外に宣言する
- ◆ ウェブサイトやCSR報告書・イベント開催報告書などへ記載する

1.3 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ベーシック

持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている

**取組み例**

- ◆ 方針に関する文書を現場で作成している
- ◆ 方針をウェブサイトなどで国内外に発信する

1.4 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ハイレベル

持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある

**取組み例**

- ◆ 責任者・担当者などの組織体制がある
- ◆ 持続可能性についてマニュアルなどに盛り込んである

1.5 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ハイレベル

持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある

**取組み例**

- ◆ 持続可能性に配慮することが自組織にとって必要かつ組織内外の利益・成長につながることを整理した上で教育方針や計画に盛り込む

1.6 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ハイレベル

マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など) を導入している、または導入の準備を進めている

**取組み例**

- ◆ 自主的に持続可能性に関する取組を進めるため、環境などに関する方針や目標を自ら設定する
- ◆ 組織や事業所内の体制・手続きなどを構築する
- ◆ 取組み状況について客観的な立場からチェックを行う
- ◆ 国際規格や地方自治体・NPO・審査機関などが策定した第三者認証を取得する

**用語解説**

マネジメントシステムとは、方針及び目標を定め、その目標を達成するために組織を適切に指揮・管理するためのP（方針・計画）、D（実施）、C（点検）、A（是正・見直し）の仕組み

ISO20121とは、イベント運営における環境影響の管理に加えて、経済的・社会的影響についても管理することで、イベントの持続可能性をサポートするためのマネジメントシステムの国際標準規格  
<https://www.iso.org/iso-20121-sustainable-events.html>

ISO14001とは、事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめることを目的に定められたマネジメントシステムの国際標準規格  
<https://www.iso.org/iso-14001-environmental-management.html>

エコアクション21とは、環境省が定めた環境経営システムや環境報告に関するガイドラインに基づく制度  
<http://ea21.jp/>

ISO  
Ea  
エコアクション21

1.7 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ベーシック

条例に従い受動喫煙対策が用意されている（例：東京都受動喫煙防止条例など）

**取組み例**

- ◆ 屋内禁煙または喫煙専用室を設置する

**用語解説**

東京都受動喫煙防止条例とは、東京都、都民及び保護者の責務を明らかにするとともに、都民が自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進することにより、受動喫煙による都民の健康への悪影響を未然に防止することを目的とする条例（2019年1月1日一部施行）

1.8 **主催者** **会場** **宿泊** **飲食** **輸送** ハイレベル

関係者・従業員を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある

**取組み例**

- ◆ 定期的または必要に応じて内部研修会を開催する
- ◆ 専門家を招いて社内向けセミナー・勉強会などを実施する
- ◆ 関係者・従業員を外部的関連セミナーなどへ参加させる
- ◆ 持続可能性に配慮した優れた取組を行った関係者・従業員を表彰する

## 1. 管理と教育

1.9

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ハイレベル

臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う

**取組み例** ◆ 臨時スタッフ向けの事前説明に持続可能性に関する内容を盛り込む

1.10

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ハイレベル

国内外から訪れる参加者（来場者）に適切に対応するための倫理規範・ダイバーシティについての教育を関係者・従業員に対して行う

**取組み例** ◆ 内部勉強会または文書による周知などがある

**用語解説** **ダイバーシティ**とは、社会においてジェンダー・年齢・国籍・障がいの有無・経歴を問わず受容すること

1.11

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ベーシック

祈祷室・スペースの設置など、宗教的慣習に臨機応変に対応する

**取組み例** ◆ 祈祷室・スペースを男女別に確保する

1.12

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ハイレベル

持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する

**取組み例** ◆ 取組の結果をウェブサイトなどで国内外に情報発信する  
◆ CSR報告書・イベント開催報告書などへ記載する

1.13

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ベーシック

地域の製品やサービスの優先調達について情報発信する

**取組み例** ◆ 取組について具体的な内容をウェブサイトなどで国内外に情報発信する（例：国産・関東圏内の製品やサービスを調達しているなど）

1.14

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ベーシック

ハラールやベジタリアンなど食に関する制限に配慮し、使用食材や調理方法の表示を行う

**取組み例** ◆ 料理の原材料を表示する  
◆ ハラールについては調理の過程も表示する

1.15

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ベーシック

持続可能性に配慮した運営を参加者などに情報発信するコミュニケーションツールを用意する

**取組み例** ◆ 会場内に持続可能な取組に関する説明などの掲示を行う  
◆ ウェブサイトやメールで情報発信する  
◆ サイン看板などに表示する

1.16

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ハイレベル

関係者・従業員に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている

**取組み例** ◆ ボード・ウェブサイトなどで共有する  
◆ 運営マニュアルに盛り込む

1.17

主催者
会場
宿泊
飲食
輸送

ベーシック

案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する

**取組み例** ◆ 案内表示は英語で表記する  
◆ 主催者：各主体と連携し対応する  
◆ 会場：ホール・会議室・宴会場・トイレなどに利用者が理解できる言語で表記する  
◆ 宿泊：客室・レストラン・宴会場・トイレなどに利用者が理解できる言語で表記する  
◆ 飲食：メニュー・トイレなどに利用者が理解できる言語で表記する  
◆ 輸送：バス・タクシーなどに利用者が理解できる言語で表記する

### Column MICEの現場より 1

#### 事前にハラスメント防止を参加者に呼びかける！

#### シーグラフアジア2018 東京国際フォーラム

国際団体本部であるACMIは、オープンな意見交換、そして思想と表現の自由を目標として掲げているため、本会議においてもハラスメント防止ポリシーを策定の上、事前にホームページ上で公開し参加者に周知しました。参加者全員があらゆる個人及びグループの本質的価値を認め、互いに尊厳・理解・敬意を育み、さらに多様性を受け入れる環境の実現に努めました。



該当する主な項目: 1.1 1.2 1.5 1.10 1.15 1.16 5.8 5.9 他



## 2 . 調達

**2.1** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある

**取組み例**

- ◆ 主催者:運営主体として調達方針を持っている
- ◆ 会場・宿泊・飲食・輸送:組織として調達方針を持っている
- ◆ ハイブリッドカー・電気自動車・水素自動車などを優先して調達する方針を持っている

**2.2** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある

**取組み例**

- ◆ 「調達する物品やサービスまたは車両の〇〇%以上を持続可能性に配慮したものを選ぶ」などの数値目標がある

**2.3** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

物品・サービスの提供事業者が持続可能性に配慮した調達を行っているか確認する

**取組み例**

- ◆ 事業者にチェックリスト「2. 調達」部分を事前に共有し、達成項目の確認を行う

**2.4** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

物品・サービスの提供事業者の選定において、持続可能な取組を評価する項目がある

**取組み例**

- ◆ 選定時の評価項目に持続可能性の取組を加える
- ◆ 持続可能な取組を積極的に行う事業者のリストなどがある

**2.5** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ

**取組み例**

- ◆ イベント開催に際して新規購入する物品は、東京都グリーン購入ガイド・グリーン購入法・エコマーク・JEMAI環境ラベルプログラム（エコリーフ・カーボンフットプリント（CFP））の適合商品などを選ぶ

**用語解説**

**東京都グリーン購入ガイド**とは、東京都が東京都グリーン購入推進方針に基づき物品などを調達する際の目安を示したもの

**グリーン購入法**とは、国などの公的機関が率先して環境物品など（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品などに関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指す法律  
事業者は同法の判断の基準を満たしていることを自らが確認し、その適合の表示をマークやアイコンなどで自ら作成することができる  
<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/>  
適合商品の紹介サイト（グリーン購入ネットワーク） <http://www.gpn.jp/>

**エコマーク**とは、生産から廃棄までを通じて環境への負荷が少なく、環境保全に認められた商品に付けられる環境ラベルのこと  
<https://www.ecomark.jp/>

**JEMAI環境ラベルプログラム（エコリーフ・カーボンフットプリント（CFP））**とは、製品のライフサイクルステージにわたる環境情報を定量的に開示する環境ラベルのこと  
<http://www.jemai-label.jp/>

**グリーン購入法 適合商品** アイコンの例



**2.6** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

環境などの持続可能性に配慮したホテルを選ぶ

**取組み例**

- ◆ ウェブサイトなどで持続可能な取組を情報発信しているホテル・旅館を選ぶ
- ◆ エコマーク認定やエコ商品ねっと（グリーン購入ネットワーク）に掲載されたホテル・旅館を選ぶ

**用語解説**

**エコ商品ねっと**とは、グリーン購入・調達を行う際に商品名などで簡単にグリーン購入法適合品を調べられるグリーン購入ネットワーク（GPN）が提供するデータベース（ウェブサイト）  
<http://www.gpn.jp/econet/>

**2.7** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

環境に配慮した車両（低公害・低燃費）などを導入している

**取組み例**

- ◆ ハイブリッドカー・天然ガス自動車・クリーンディーゼル自動車を選ぶ

## 2. 調達

2.8

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ハイレベル**

ゼロエミッション・ビークルを導入している

**取組み例** ◆ 電気自動車 (EV)・燃料電池自動車 (FCV)・プラグインハイブリッド自動車 (PHV) を選ぶ


**用語解説** ゼロエミッション・ビークルとは、走行時に二酸化炭素などの排出ガスを出さない自動車のこと

2.9

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ハイレベル**

展示会などで使用する木材は、適切に管理された森林の木材を優先する

**取組み例** ◆ FSC®認証・PEFC認証・SGEC認証を取得した木材を使用する  
◆ 生産・加工・輸送工程における情報が明確な木材を使用する  
◆ 資源循環に貢献する木材を使用する

**用語解説** FSC®認証とは、環境保全の点から見て適切で、社会的な利益に適い、経済も継続可能なように管理をされた森林からの木材、及び責任ある調達をされた木質原材料に対する国際認証   
<https://jp.fsc.org/jp-jp>

PEFC認証とは、持続可能な森林管理によって生産された木材に対する第三者認証 <https://www.sgec-eco.org/>

SGEC認証とは、国際的な基準を用いて持続可能な森林経営を行っている森林に対する認証 <https://www.sgec-eco.org/>

2.10

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ベーシック**

エコバッグ・ノベルティ・名札・ストラップなどについては、再生材の利用やリサイクル性に配慮したものを選ぶ

**取組み例** ◆ 再生紙・再生プラスチック・間伐材などを使用したものを選ぶ  
◆ 東京都グリーン購入ガイド・グリーン購入法・エコマーク・JEMAI環境ラベルプログラム (エコリーフ・カーボンフットプリント (CFP)) の適合商品を選ぶ  
◆ リサイクル性に配慮したものを選ぶ

2.11

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ハイレベル**

食品 (生鮮・加工) は持続可能性に配慮したものを優先する

**取組み例** ◆ 持続可能性に配慮した食品を調達する (例: エコマーク・MSC認証など)  
◆ 農産物についてはJGAPなど、水産物であればGSSIなど各種認証を受けた食品を取り入れる

**用語解説** MSC認証とは、持続可能な漁業を認証する制度   
<https://www.msc.org/jp>

ASC認証とは、環境と社会に配慮した責任ある養殖業を認証する制度 <https://www.asc-aqua.org/ja/>

JGAPとは、食の安全や環境保全に取組む農場に与えられる認証   
<http://jgap.jp/>

GSSIとは、世界の水産物の持続可能性を目標とした国際的パブリック・プライベートパートナーシップのこと <https://www.ourgssi.org/>

2.12

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ベーシック**

食材について、地産地消の調達方針がある

**取組み例** ◆ 主催者: ケータリングや飲食を選択するときに、地産地消の調達方針を持つ事業者を選択する  
◆ 主催者: 地産地消の調達を依頼する  
◆ 宿泊・飲食: 組織として、地産地消の調達方針がある

2.13

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ベーシック**

地産地消の食材を選択する

**取組み例** ◆ 地域内で生産された食材を利用している  
◆ 地域ならではのメニューを開発している



2.14

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 **ハイレベル**

電力契約は再生可能エネルギーを優先する

**取組み例** ◆ 再生可能エネルギーを優先して調達する (例: 契約プランの見直し・グリーン電力証書利用・太陽光パネル導入など)  
◆ 東京都グリーン購入ガイドに適合するエネルギー利用を行う

**用語解説** 再生可能エネルギーとは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギー (太陽光や太陽熱・水力・風力・バイオマス・地熱など) のこと

グリーン電力証書とは、再生可能エネルギーによって得られた電力の環境付加価値を取引可能な証書にしたもの    
<http://www.natural-e.co.jp/>  
<https://www.energygreen.co.jp/>

# 3. エネルギーと水

**3.1** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある

**取組み例**

- ◆ 運営または経営する上でエネルギー・水の利用に関する方針や計画がある
- ◆ 輸送:省エネ運転(エコドライブ・アイドリングストップ)に関する方針や計画がある

**3.2** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

エネルギー使用量や水使用量の数値の把握と見直しを行う

**取組み例**

- ◆ 運営または経営する上でエネルギーや水の使用量の数値を把握する。また、前年や前回開催などと比較して使用量が少なくなるよう見直しを行う

**3.3** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

会場周辺の移動において環境負荷の少ない開催地を選ぶ

**取組み例**

- ◆ 徒歩・公共交通機関で移動できる会場を優先して選ぶ
- ◆ シャトルバスでの開催地間移動などが不要な会場を選ぶ

**3.4** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

メイン会場からレセプションなどの会場への移動は環境負荷の少ない方法を選ぶ

**取組み例**

- ◆ 徒歩・公共交通機関で移動できる会場を優先して選ぶ(ディナー・レセプション・ソーシャルイベント会場など)
- ◆ シャトルバスなどでの移動が発生する場合は、環境に配慮した車両を優先して選ぶ

**3.5** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

飲料水の提供は、持続可能性に配慮した方法で行う

**取組み例**

- ◆ 給水ポットやウォーターサーバーで提供する
- ◆ ペットボトルの配布を減らす

**3.6** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

交通アクセスは、最寄りの公共交通機関やシェアリングエコノミー型サービスを紹介する

**取組み例**

- ◆ 公共交通機関やレンタサイクルなどの情報をウェブサイトなどで紹介する

**用語解説** **シェアリングエコノミー**とは、場所・乗り物・モノ・人・お金などの遊休資産をインターネットを介して個人間で貸借・売買をすることでシェアする経済の動き

**3.7** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

節電・省エネ・節水型の機器の導入や雨水利用をしている

**取組み例**

- ◆ 節電・省エネ・節水型の機器(LED照明や節水型トイレなど)を導入する
- ◆ 雨水をトイレなどに利用している

**3.8** 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

節電・省エネ・節水などに配慮している会場・ホテル・飲食・輸送事業者を優先して選ぶ

**取組み例**


- ◆ 情報提供に協力的な事業者を優先して選ぶ
- ◆ 事業者チェックリスト「3. エネルギーと水」部分を事前に共有し、達成項目の確認を行う

**Column** MICEの現場より ②

**展示会の環境負荷を算定し、効果の見える化を実現!**

**エコプロ2018 東京ビッグサイト**

エコプロ展では毎年、環境負荷を算定し、分野ごとや前年度との比較を行うなど効果の見える化を実現しています。展示会では廃棄物のリサイクルをはじめ、次世代を担う子どもたちへ環境教育のツアーの実施、会場で使用するエネルギーのグリーン電力化、カーボンオフセットの実施などあらゆる取組にチャレンジしています。



該当する主な項目: 1.1 1.2 1.12 1.15 2.14 3.2 4.2 4.10 5.4 5.6 他

## 3. エネルギーと水

3.9 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

停車・駐車中はアイドリングストップを実施する

取組み例 ◆ アイドリングストップ車を優先して導入する

3.10 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

利用していない部屋・スペースは、空調・照明を使用しない

取組み例 ◆ 会場：設営・搬入・搬出時に空調などの使用を控える  
◆ 宿泊：ゲストがチェックイン前、外出時に空調を使用しないなど

3.11 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ハイレベル

建築物を対象とした環境配慮型の認証制度を取得している、または取得に向け取組んでいる

取組み例 ◆ LEED・CASBEEなどの認証の取得に向け取組んでいる

用語解説  
LEEDとは、省エネと環境に配慮した建物・敷地利用を先導するシステムのこと  
[https://www.gbj.or.jp/leed/about\\_leed/](https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/)  
<https://new.usgbc.org/leed>  
CASBEEとは、建築物の環境性能や景観への配慮なども含め、建物の品質を総合的に評価するシステム  
<http://www.ibec.or.jp/>

3.12 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

参加者に対してクールビズ・ウォームビズを呼びかける

取組み例 ◆ クールビズ・ウォームビズの考え方について参加者へ説明・周知する  
◆ 参加者へ事前に冷暖房設定について告知を行い、協力を依頼する

## 4. 廃棄物

4.1 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

廃棄物の削減について方針や計画がある

取組み例 ◆ 組織として方針や計画などを定めている  
◆ 3R (リデュース・リユース・リサイクル) などについて取組む内容を示す  
◆ 廃棄物事業者は、リサイクル率の高い業者を選択する

用語解説 3Rとは、リデュース (省資源・ごみの発生抑制)、リユース (シェアリングや長期の再利用)、リサイクル (分別・資源の再生利用) のこと

4.2 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

関係者の協力を得て、廃棄物量の把握に努める

取組み例 ◆ 会場や宿泊が入手している産業廃棄物管理表 (マニフェスト) 等の情報提供を依頼する

用語解説 マニフェストとは、産業廃棄物の排出事業者が廃棄物の流れを把握するための伝票  
廃棄物処理の流れを確認できるようにし、不法投棄などを未然に防ぐために使用する

4.3 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

廃棄物削減などを実践する会場やホテル、飲食を優先して選ぶ

取組み例 ◆ 主催者が会場などから廃棄物削減などの情報を収集し、情報に基づいて選定する  
◆ 3Rに取組んでいる会場やホテルを選ぶ

4.4 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

リサイクルを促進するため分別ゴミ箱を設置している

取組み例 ◆ 燃えるごみ・燃えないごみ・資源などを分けた分別ゴミ箱を設置する

4.5 主催者 会場 宿泊 飲食 輸送 ベーシック

分別ゴミ箱は、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する

取組み例 ◆ 必要に応じて他言語表記やアイコンを使った表示などを行う  
◆ ゴミ箱の分別表記を英語で示す

新聞・雑誌  
Newspapers・Magazines

ペットボトル  
Plastic bottles

## 4. 廃棄物

**4.6** 会場における情報提供は電子化を促進する

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック (主催者)  
ハイレベル (会場・宿泊・飲食)

取組み例

- ◆ 配布物や表示物は、ウェブサイトやアプリ、デジタルサイネージなどを利用する
- ◆ 料理の原材料表記などを電子データで提供する

**4.7** 電子化による情報入手を促進するため利用可能な通信設備の導入を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック (主催者)  
ハイレベル (会場・宿泊)

取組み例

- ◆ ロビーや会場内に無料のインターネット接続環境を整える

**4.8** フードロス減らすための取組を行っている会場を優先的に選ぶ

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ フードロスへの取組についての情報を収集して会場を選定する (例:ビュッフェの際は細かく分けて少量ずつ提供するなどの工夫がある)

用語解説 **フードロス**とは、食べられるのに捨てられてしまう食品廃棄物のこと

**4.9** フードロス減らすための配慮をする

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ 食品数量を調整するなどの工夫を行う
- ◆ 食べ残しを減らすことなどを呼びかけるアナウンスを入れる

**4.10** 展示ブースの設営については廃棄物を減らすための取組を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ 再利用可能な素材や家具を優先して使用するよう出展者に呼びかける

**4.11** 利用者が必要とするアメニティについて選択制を採用する

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ 詰め替え式の容器などを利用する
- ◆ 利用者が必要なアメニティを選べる

**4.12** 連泊するゲストには、タオルやシーツの交換を控えるなどの協力依頼を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ タオルやシーツなどの交換についての呼びかけや仕組みを導入する
- ◆ 協力したゲストへのポイント還元、削減したコストの寄付などを実施する

**4.13** 名札・ストラップなどは回収し、再利用を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ 名札・ストラップの回収箱の設置を行う

**4.14** 使い捨ての食器・トレー・割り箸などについては使用を減らすための取組を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ 繰り返し使える金属・陶器・ガラス製の食器を活用する
- ◆ やむを得ず使用する場合は、環境など持続可能性に配慮した紙製などで提供する

**4.15** プラスチック製品の使用を減らすための取組を行う

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

取組み例

- ◆ プラスチック製のストロー・スプーン・フォーク・ペットボトル容器などの提供は控える
- ◆ 使い捨てプラスチック製品について現状を把握する

## Column MICEの現場より ③

### 東京の水道水で持続可能な取組をPR

#### 2018年IWA世界会議・展示会 東京ビッグサイト

2018年9月、世界各国の専門家などが上下水道・水環境分野に関する知見を共有する国際会議、「第11回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会」が東京ビッグサイトで開催されました。会期中、参加者にステンレス製のマイボトル2,000本を配布するとともに、会場内に「Tokyo Water Drinking Station」と称するウォーターサーバーを設置し、延7,867名の参加者が東京水 (東京の水道水) を試飲しました。その結果、安全で快適な水環境を創造する東京ならではの持続可能な取組として、国際本部や参加者などから高く評価されました。

該当する主な項目: 1.1 1.2 2.13 3.5 4.15 5.4 他



## 5 . コミュニティ（地域社会）

5.1

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある

**取組み例**

- ◆ 組織として方針や計画などを定めている
- ◆ 寄付・ボランティア活動など地域への貢献に取組む計画がある

**用語解説**

レガシーとは、各種施設やインフラの整備などのハード面だけでなく、有形・無形に関わらず社会に生み出される持続的な効果のこと

5.2

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ハイレベル

持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う

**取組み例**

- ◆ 具体的な取組み内容についてウェブサイトなどで地域へ情報発信を行う

5.3

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

アトラクションやパフォーマンスなどは、地域の魅力を伝えるものを優先して選ぶ

**取組み例**

- ◆ レセプションやパーティーの演出には、地域のコンテンツを採用する

5.4

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ハイレベル

イベントの開催時に地域住民を対象とした参加メニューを用意する

**取組み例**

- ◆ イベントの開催にあわせて地域住民を対象とした公開セミナーなどを開催する

5.5

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

参加者へのギフトやノベルティなどは、地域の魅力を伝えるものを優先して選ぶ

**取組み例**

- ◆ 参加者向けのノベルティに伝統工芸品などの地域のコンテンツを採用する

5.6

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ハイレベル

地域への寄付や寄贈、支援などを行う

**取組み例**

- ◆ 地域への寄付・植林・ボランティア活動・NPOとの協働イベントなどを実施する
- ◆ ホテル客室などのアメニティ交換頻度を減らすことによって削減されたコストを地域への寄付に充てる

5.7

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

参加者が地域を理解するプログラムを優先的に選ぶ

**取組み例**

- ◆ 国際会議などの同伴者プログラムでは、地域の魅力を伝えるツアーや文化プログラムを採用する
- ◆ 地域の魅力に触れるウォーキング・ランニング・サイクリングコースなどの情報を参加者に提供する

5.8

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

ユニバーサルデザイン向上の取組を行う

**取組み例**

- ◆ 主催者・会場・宿泊・飲食：すべての利用者に対して、適切な受け入れ体制になっているかを確認する
- ◆ 輸送：すべての利用者に対して、適切な輸送を提供する

**用語解説**

ユニバーサルデザインとは、障がいの有無や人種などに関わらず、多様な人々が利用しやすい生活環境をデザインする考え方

5.9

主催者 会場 宿泊 飲食 輸送

ベーシック

ダイバーシティを尊重した雇用を行う

**取組み例**

- ◆ 人種・マイノリティなどに配慮した雇用に取り組む

**用語解説**

ダイバーシティについては、11ページ項目1.10を参照

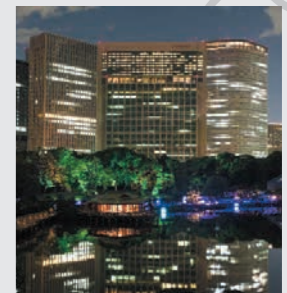
### Column MICEの現場より 4

#### 地域資源～ユニークベニュー～の有効活用

##### Tokyo Prime Night 2017 浜離宮恩賜庭園

歴史的建造物や公的空間などで、会議やレセプションなどを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場を「ユニークベニュー」といいます。このような地域資源の有効活用は、シェアリングエコノミーの観点から価値があるばかりでなく、日本の文化や魅力を発信する上でも重要な役割を果たします。

2017年10月に都の代表的なユニークベニューである浜離宮恩賜庭園で開催されたイベントでは、園内を幻想的にライトアップするなど非日常感を演出し、地域資源の積極活用に係る効果的な取組となりました。



該当する主な項目: [3.3](#) [3.4](#) [3.6](#) [5.3](#) [5.7](#) 他

## Column 海外他都市の取組み事例

### 都市の特性に応じた幅広い取組を展開

#### シンガポール

政府が2008年から進める環境に配慮した建設・建築に関する政策により、Green Cityとしての定評を獲得しています。そのような中、MICE分野においても、2013年に「Singapore Sustainability Guidelines」を策定するなど、持続可能に向けた取組を推進しています。

2017年からは当該ガイドラインを元にした認証制度も開始され、持続可能なMICEへの理解が広がっています。



©Singapore Tourism Board

#### バンクーバー

MICEにおけるサステナビリティガイドラインを策定するとともに、専門アドバイザーの設置を通して、各ステークホルダーの状況にあわせた個別相談を実施するなど、持続可能なMICE運営を推進しています。また、持続可能な観光ツアーを積極的に紹介し、現地の自然や住民との触れ合いの機会も提供しています。

一方で、市内MICE関連事業者についても、自主的に持続可能性に関する認証を取得するなど、都市として持続可能な取組に対する気運の醸成が図られています。



#### ヨーテボリ (スウェーデン)

2006年に主催者向けにイベントの持続可能性を評価する認証制度を開発し、現在ではスウェーデン全体でその制度を活用した取組が進められるなど、持続可能性に係る先進都市として位置づけられています。また、都市の持続可能性を図る基準として別途開発した「Global Destination Sustainability Index(GDS-Index)」は、世界中に広がりを見せています。他にも、環境配慮型ツアーや専属アドバイザーの設置、コンベンションビューローによる環境関連情報などの提供（施設検索機能・サプライヤーのリスト提供）など幅広い取組により世界一持続可能なMICE開催都市として評価されています。



## チェックリスト

チェックリストは、各ページが主体別のシートに分かれています。対象となる主体（主催者・会場・宿泊・飲食・輸送）を選択し、該当する項目にチェックを入れていきましょう。具体的な取組内容をメモに記載するなど、記録をつけることも推奨されます。はじめは、ベーシックやハイレベルなどレベルにとらわれず、まずは取組むことが重要です。

エクセルファイルでのチェックリストは下記のサイトからダウンロードできます。  
[businesseventstokyo.org/ja/](http://businesseventstokyo.org/ja/)

主催者

**対象となる主体**

- MICEを主催する組織
- 主催者の業務を代行する事業者 (PCO・広告代理店・DMCなど)
- 主催者や主催者の業務を代行する事業者などがその影響力を行使してコントロールできるサプライヤー (例: 設営/施工、デザイン、印刷、レンタル機器 (音響・照明・映像など)、ウェブ制作、システム構築、グッズ制作/物品調達、人材派遣など)

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック	✓		1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル	✓		1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック	✓		1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル	✓		1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など) を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている (例: 東京都受動喫煙防止条例など)	ベーシック	✓		1.7

項目ごとのレベル

取組のチェック欄

MEMO欄は、課題や具体的な取組み内容を記述

各チェックリストの項目と取組み例 (9ページから24ページ) の参照番号

図4: チェックリストの構造

## 主催者

- MICEを主催する組織
- 主催者の業務を代行する事業者 (PCO・広告代理店・DMCなど)
- 主催者や主催者の業務を代行する事業者などがその影響力を行使してコントロールできるサプライヤー (例: 設営/施工、デザイン、印刷、レンタル機器 (音響・照明・映像など)、ウェブ制作、システム構築、グッズ制作/物品調達、人材派遣など)

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック			1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル			1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック			1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル			1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など)を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている (例: 東京都受動喫煙防止条例など)	ベーシック			1.7
関係者を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある	ハイレベル			1.8
臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う	ハイレベル			1.9
国内外から訪れる参加者 (来場者) に適切に対応するための倫理規範、ダイバーシティについての教育を関係者に対して行う	ハイレベル			1.10
祈祷室・スペースの設置など、宗教的慣習に臨機応変に対応する	ベーシック			1.11
持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する	ハイレベル			1.12
持続可能性に配慮した運営を参加者などに情報発信するコミュニケーションツールを用意する	ベーシック			1.15
関係者に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている	ハイレベル			1.16
案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			1.17
<b>2. 調達</b>				
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある	ベーシック			2.1
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある	ハイレベル			2.2
物品・サービスの提供事業者が持続可能性に配慮した調達を行っているか確認する	ハイレベル			2.3
物品・サービスの提供事業者の選定において、持続可能な取組を評価する項目がある	ハイレベル			2.4
調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.5
環境などの持続可能性に配慮したホテルを選ぶ	ハイレベル			2.6
展示会などで使用する木材は、適切に管理された森林の木材を優先する	ハイレベル			2.9
エコバッグ・ノベルティ・名札・ストラップなどについては、再生材の利用やリサイクル性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.10
食材について、地産地消の調達方針がある	ベーシック			2.12
<b>3. エネルギーと水</b>				
節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある	ベーシック			3.1

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
会場周辺の移動において環境負荷の少ない開催地を選ぶ	ベーシック			3.3
メイン会場からレセプションなどの会場への移動は環境負荷の少ない方法を選ぶ	ハイレベル			3.4
飲料水の提供は、持続可能性に配慮した方法で行う	ベーシック			3.5
交通アクセスは、最寄りの公共交通機関やシェアリングエコノミー型サービスを紹介する	ベーシック			3.6
節電・省エネ・節水などに配慮している会場・ホテル・飲食・輸送事業者を優先して選ぶ	ベーシック			3.8
参加者に対してクールビズ・ウォームビズを呼びかける	ベーシック			3.12
<b>4. 廃棄物</b>				
廃棄物の削減について方針や計画がある	ベーシック			4.1
関係者の協力を得て、廃棄物量の把握に努める	ベーシック			4.2
廃棄物削減などを実践する会場やホテル、飲食を優先して選ぶ	ベーシック			4.3
分別ゴミ箱は、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			4.5
会場における情報提供は電子化を促進する	ベーシック			4.6
電子化による情報入手を促進するため利用可能な通信設備の導入を行う	ベーシック			4.7
フードロスを減らすための取組を行っている会場を優先的に選ぶ	ベーシック			4.8
フードロスを減らすための配慮をする	ベーシック			4.9
展示ブースの設営については廃棄物を減らすための取組を行う	ベーシック			4.10
名札・ストラップなどは回収し、再利用を行う	ベーシック			4.13
<b>5. コミュニティー (地域社会)</b>				
地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある	ベーシック			5.1
持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う	ハイレベル			5.2
アトラクションやパフォーマンスなどは、地域の魅力を伝えるものを優先して選ぶ	ベーシック			5.3
イベントの開催時に地域住民を対象とした参加メニューを用意する	ハイレベル			5.4
参加者へのギフトやノベルティなどは、地域の魅力を伝えるものを優先して選ぶ	ベーシック			5.5
地域への寄付や寄贈、支援などを行う	ハイレベル			5.6
参加者が地域を理解するプログラムを優先的に選ぶ	ベーシック			5.7
ユニバーサルデザイン向上の取組を行う	ベーシック			5.8
ダイバーシティを尊重した雇用を行う	ベーシック			5.9



## 会場

● コンベンション施設、展示・イベント施設、宴会場を有するホテルなどの事業者

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック			1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル			1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック			1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル			1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など) を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている (例: 東京都受動喫煙防止条例など)	ベーシック			1.7
従業員を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある	ハイレベル			1.8
臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う	ハイレベル			1.9
国内外から訪れる参加者 (来場者) に適切に対応するための倫理規範、ダイバーシティについての教育を従業員に対して行う	ハイレベル			1.10
祈祷室・スペースの設置など、宗教的慣習に臨機応変に対応する	ベーシック			1.11
持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する	ハイレベル			1.12
持続可能性に配慮した運営を参加者などに情報発信するコミュニケーションツールを用意する	ベーシック			1.15
従業員に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている	ハイレベル			1.16
案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			1.17
<b>2. 調達</b>				
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある	ベーシック			2.1
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある	ハイレベル			2.2
物品・サービスの提供事業者が持続可能性に配慮した調達を行っているか確認する	ハイレベル			2.3
調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.5
電力契約は再生可能エネルギーを優先する	ハイレベル			2.14

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>3. エネルギーと水</b>				
節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある	ベーシック			3.1
エネルギー使用量や水使用量の数値の把握と見直しを行う	ベーシック			3.2
飲料水の提供は、持続可能性に配慮した方法で行う	ベーシック			3.5
交通アクセスは、最寄りの公共交通機関やシェアリングエコノミー型サービスを紹介する	ベーシック			3.6
節電・省エネ・節水型の機器の導入や雨水利用をしている	ベーシック			3.7
利用していない部屋・スペースは、空調・照明を使用しない	ベーシック			3.10
建築物を対象とした環境配慮型の認証制度を取得している、または取得に向け取組んでいる	ハイレベル			3.11
<b>4. 廃棄物</b>				
廃棄物の削減について方針や計画がある	ベーシック			4.1
リサイクルを促進するため分別ゴミ箱を設置している	ベーシック			4.4
分別ゴミ箱は、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			4.5
会場における情報提供は電子化を促進する	ハイレベル			4.6
電子化による情報入手を促進するため利用可能な通信設備の導入を行う	ハイレベル			4.7
フードロスを減らすための配慮をする	ベーシック			4.9
使い捨ての食器・トレー・割り箸などについては使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.14
プラスチック製品の使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.15
<b>5. コミュニティー (地域社会)</b>				
地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある	ベーシック			5.1
持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う	ハイレベル			5.2
ユニバーサルデザイン向上の取組を行う	ベーシック			5.8
ダイバーシティを尊重した雇用を行う	ベーシック			5.9

## 宿泊

● ホテル・旅館などの事業者

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック			1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル			1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック			1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル			1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など) を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている (例: 東京都受動喫煙防止条例など)	ベーシック			1.7
従業員を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある	ハイレベル			1.8
臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う	ハイレベル			1.9
国内外から訪れる参加者 (来場者) に適切に対応するための倫理規範、ダイバーシティについての教育を従業員に対して行う	ハイレベル			1.10
祈祷室・スペースの設置など、宗教的慣習に臨機応変に対応する	ベーシック			1.11
持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する	ハイレベル			1.12
地域の製品やサービスの優先調達について情報発信する	ベーシック			1.13
ハラルやベジタリアンなど食に関する制限に配慮し、使用食材や調理方法の表示を行う	ベーシック			1.14
持続可能性に配慮した運営を参加者などに情報発信するコミュニケーションツールを用意する	ベーシック			1.15
従業員に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている	ハイレベル			1.16
案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			1.17
<b>2. 調達</b>				
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある	ベーシック			2.1
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある	ハイレベル			2.2
物品・サービスの提供事業者が持続可能性に配慮した調達を行っているか確認する	ハイレベル			2.3
調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.5
食品 (生鮮・加工) は持続可能性に配慮したものを優先する	ハイレベル			2.11
食材について、地産地消の調達方針がある	ベーシック			2.12
電力契約は再生可能エネルギーを優先する	ハイレベル			2.14

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>3. エネルギーと水</b>				
節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある	ベーシック			3.1
エネルギー使用量や水使用量の数値の把握と見直しを行う	ベーシック			3.2
飲料水の提供は、持続可能性に配慮した方法で行う	ベーシック			3.5
交通アクセスは、最寄りの公共交通機関やシェアリングエコノミー型サービスを紹介する	ベーシック			3.6
節電・省エネ・節水型の機器の導入や雨水利用をしている	ベーシック			3.7
利用していない部屋・スペースは、空調・照明を使用しない	ベーシック			3.10
建築物を対象とした環境配慮型の認証制度を取得している、または取得に向け取組んでいる	ハイレベル			3.11
<b>4. 廃棄物</b>				
廃棄物の削減について方針や計画がある	ベーシック			4.1
リサイクルを促進するため分別ゴミ箱を設置している	ベーシック			4.4
分別ゴミ箱は、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			4.5
会場における情報提供は電子化を促進する	ハイレベル			4.6
電子化による情報入手を促進するため利用可能な通信設備の導入を行う	ハイレベル			4.7
フードロスを減らすための配慮をする	ベーシック			4.9
利用者が必要とするアメニティについて選択制を採用する	ベーシック			4.11
連泊するゲストには、タオルやシーツの交換を控えるなどの協力依頼を行う	ベーシック			4.12
使い捨ての食器・トレー・割り箸などについては使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.14
プラスチック製品の使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.15
<b>5. コミュニティ (地域社会)</b>				
地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある	ベーシック			5.1
持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う	ハイレベル			5.2
地域への寄付や寄贈、支援などを行う	ハイレベル			5.6
ユニバーサルデザイン向上の取組を行う	ベーシック			5.8
ダイバーシティを尊重した雇用を行う	ベーシック			5.9

## 飲食

● 会場内外のレストラン・ケータリング・屋台（キッチンカー）などの事業者

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック			1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル			1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック			1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル			1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム（ISO20121・ISO14001・エコアクション21など）を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている（例：東京都受動喫煙防止条例など）	ベーシック			1.7
従業員を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある	ハイレベル			1.8
臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う	ハイレベル			1.9
国内外から訪れる参加者（来場者）に適切に対応するための倫理規範、ダイバーシティについての教育を従業員に対して行う	ハイレベル			1.10
持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する	ハイレベル			1.12
地域の製品やサービスの優先調達について情報発信する	ベーシック			1.13
ハラルやベジタリアンなど食に関する制限に配慮し、使用食材や調理方法の表示を行う	ベーシック			1.14
従業員に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている	ハイレベル			1.16
案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			1.17
<b>2. 調達</b>				
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある	ベーシック			2.1
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある	ハイレベル			2.2
物品・サービスの提供事業者が持続可能性に配慮した調達を行っているか確認する	ハイレベル			2.3
調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.5
食品（生鮮・加工）は持続可能性に配慮したものを優先する	ハイレベル			2.11

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
食材について、地産地消の調達方針がある	ベーシック			2.12
地産地消の食材を選択する	ベーシック			2.13
<b>3. エネルギーと水</b>				
節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある	ベーシック			3.1
エネルギー使用量や水使用量の数値の把握と見直しを行う	ベーシック			3.2
飲料水の提供は、持続可能性に配慮した方法で行う	ベーシック			3.5
交通アクセスは、最寄りの公共交通機関やシェアリングエコノミー型サービスを紹介する	ベーシック			3.6
節電・省エネ・節水型の機器の導入や雨水利用をしている	ベーシック			3.7
<b>4. 廃棄物</b>				
廃棄物の削減について方針や計画がある	ベーシック			4.1
リサイクルを促進するため分別ゴミ箱を設置している	ベーシック			4.4
分別ゴミ箱は、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			4.5
会場における情報提供は電子化を促進する	ハイレベル			4.6
フードロスを減らすための配慮をする	ベーシック			4.9
使い捨ての食器・トレー・割り箸などについては使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.14
プラスチック製品の使用を減らすための取組を行う	ベーシック			4.15
<b>5. コミュニティ（地域社会）</b>				
地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある	ベーシック			5.1
持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う	ハイレベル			5.2
地域への寄付や寄贈、支援などを行う	ハイレベル			5.6
ユニバーサルデザイン向上の取組を行う	ベーシック			5.8
ダイバーシティを尊重した雇用を行う	ベーシック			5.9

## 輸 送

● 旅客輸送(航空・鉄道・バス・タクシー・ハイヤー)、物流などの事業者

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
<b>1. 管理と教育</b>				
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層の理解を得ている	ベーシック			1.1
持続可能性に配慮した運営や経営を目指し、運営責任者や経営層のメッセージまたはコミットメントがある	ハイレベル			1.2
持続可能性に配慮した運営や経営に関する方針が文書化されている	ベーシック			1.3
持続可能性に配慮した運営や経営方針を継続的に実施・点検・見直しするための体制がある	ハイレベル			1.4
持続可能性に配慮する目的や意義を定着させるための教育方針や計画がある	ハイレベル			1.5
マネジメントシステム (ISO20121・ISO14001・エコアクション21など)を導入している、または導入の準備を進めている	ハイレベル			1.6
条例に従い受動喫煙対策が用意されている (例:東京都受動喫煙防止条例など)	ベーシック			1.7
従業員を対象に、持続可能性への配慮を啓発する研修や表彰制度などがある	ハイレベル			1.8
臨時スタッフを雇用する場合にも持続可能性への配慮について教育を行う	ハイレベル			1.9
国内外から訪れる参加者(来場者)に適切に対応するための倫理規範、ダイバーシティについての教育を従業員に対して行う	ハイレベル			1.10
持続可能性に配慮した取組の内容を報告書にまとめ、国内外へ発信する	ハイレベル			1.12
従業員に対して、持続可能性への配慮に関する方針・体制・目標・取組が情報提供されている	ハイレベル			1.16
案内表示などは、日本語以外でも理解可能な他言語やアイコンで表記する	ベーシック			1.17
<b>2. 調達</b>				
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達する方針がある	ベーシック			2.1

内容	レベル	チェック	MEMO	参照番号
持続可能性に配慮した物品やサービスを優先して調達するための数値目標がある	ハイレベル			2.2
調達物品は環境などの持続可能性に配慮したものを選ぶ	ベーシック			2.5
環境に配慮した車両(低公害・低燃費)などを導入している	ベーシック			2.7
ゼロエミッション・ビークルを導入している	ハイレベル			2.8
<b>3. エネルギーと水</b>				
節電・省エネ・節水などに配慮した方針や計画がある	ベーシック			3.1
エネルギー使用量や水使用量の数値の把握と見直しを行う	ベーシック			3.2
停車・駐車中はアイドリングストップを実施する	ベーシック			3.9
<b>4. 廃棄物</b>				
廃棄物の削減について方針や計画がある	ベーシック			4.1
<b>5. コミュニティ (地域社会)</b>				
地域への貢献、レガシーに関する方針や計画がある	ベーシック			5.1
持続可能性に配慮した運営や経営について、地域への情報発信を行う	ハイレベル			5.2
地域への寄付や寄贈、支援などを行う	ハイレベル			5.6
ユニバーサルデザイン向上の取組を行う	ベーシック			5.8
ダイバーシティを尊重した雇用を行う	ベーシック			5.9

## 用語集

五十音・アルファベット順

<b>エコアクション21</b>	環境省が定めた環境経営システムや環境報告に関するガイドラインに基づく制度
<b>エコ商品ねっと</b>	グリーン購入・調達を行う際に商品名などで簡単にグリーン購入法適合品を調べられるグリーン購入ネットワーク (GPN) が提供するデータベース (ウェブサイト)
<b>エコマーク</b>	生産から廃棄までを通じて環境への負荷が少なく、環境保全に認められた商品に付けられる環境ラベル
<b>グリーン購入法</b>	国などの公的機関が率先して環境物品など (環境負荷低減に資する製品・サービス) の調達を推進するとともに、環境物品などに関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを旨とする法律 事業者は同法の判断の基準を満たしていることを自らが確認し、その適合の表示をマークやアイコンなどで自ら作成することができる
<b>グリーン電力証書</b>	再生可能エネルギーによって得られた電力の環境付加価値を取引可能な証書にしたもの
<b>再生可能エネルギー</b>	一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギー (太陽光や太陽熱・水力・風力・バイオマス・地熱など)
<b>シェアリングエコノミー</b>	場所・乗り物・モノ・人・お金などの遊休資産をインターネットを介して個人間で貸借、売買をすることでシェアする経済の動き
<b>持続可能性に配慮した運営や経営</b>	経済・環境・社会の3つの側面において、バランスの取れた発展をもたらす取組 詳細は3ページから4ページの「持続可能性」とはを参照
<b>ゼロエミッション・ビークル</b>	走行時に二酸化炭素などの排出ガスを出さない自動車
<b>ダイバーシティ</b>	社会においてジェンダー・年齢・国籍・障がいの有無・経歴を問わず受容すること
<b>東京都グリーン購入ガイド</b>	東京都が東京都グリーン購入推進方針に基づき物品などを調達する際の目安を示したもの
<b>東京都受動喫煙防止条例</b>	東京都、都民及び保護者の責務を明らかにするとともに、都民が自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進することにより、受動喫煙による都民の健康への悪影響を未然に防止することを目的とする条例 (2019年1月1日一部施行)
<b>フードロス</b>	食べられるのに捨てられてしまう食品廃棄物
<b>マニフェスト</b>	産業廃棄物の排出事業者が廃棄物の流れを把握するための伝票 廃棄物処理の流れを確認できるようにし、不法投棄などを未然に防ぐために使用する
<b>マネジメントシステム</b>	方針及び目標を定め、その目標を達成するために組織を適切に指揮・管理するためのP (方針・計画)、D (実施)、C (点検)、A (是正・見直し) の仕組み
<b>ユニバーサルデザイン</b>	障がいの有無や人種などに関わらず、多様な人々が利用しやすい生活環境をデザインする考え方

<b>レガシー</b>	各種施設やインフラの整備などのハード面だけでなく、有形・無形に関わらず社会に生み出される持続的な効果
<b>ASC認証</b>	環境と社会に配慮した責任ある養殖業を認証する制度
<b>CASBEE</b>	建築物の環境性能や景観への配慮なども含め、建物の品質を総合的に評価するシステム
<b>COP</b>	Conference of Parties (国連気候変動枠組条約締約国会議) の略称
<b>FSC®認証</b>	環境保全の点から見て適切で、社会的な利益に適い、経済も継続可能なように管理された森林からの木材、及び責任ある調達をされた木質原材料に対する国際認証
<b>GSSI</b>	世界の水産物の持続可能性を目標とした国際的パブリック・プライベートパートナーシップ
<b>ISO</b>	International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略称
<b>ISO14001</b>	事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめることを目的に定められたマネジメントシステムの国際標準規格
<b>ISO20121</b>	イベント運営における環境影響の管理に加えて、経済的・社会的影響についても管理することで、イベントの持続可能性をサポートするためのマネジメントシステムの国際標準規格
<b>JEMAI環境ラベルプログラム</b>	製品のライフサイクルステージにわたる環境情報を定量的に開示する環境ラベル (エコリーフ・カーボンフットプリント (CFP))
<b>JGAP</b>	食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証
<b>LEED</b>	省エネと環境に配慮した建物・敷地利用を先導するシステム
<b>MICE</b>	Meeting (企業系会議)、Incentive (企業の報奨・研修旅行)、Convention (国際会議)、Exhibition/Event (展示会・イベントなど) の頭文字を取った総称
<b>MSC認証</b>	持続可能な漁業を認証する制度
<b>PEFC認証</b>	持続可能な森林管理によって生産された木材に対する第三者認証
<b>SDGs</b>	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称 2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに取組むべき17の目標
<b>SGEC認証</b>	国際的な基準を用いて持続可能な森林経営を行っている森林に対する認証
<b>3R</b>	リデュース (省資源・ごみの発生抑制)、リユース (シェアリングや長期の再利用)、リサイクル (分別・資源の再生利用) のこと

## 東京都MICE開催に係る環境配慮ガイドライン監修 ワーキンググループ メンバー

座長 伊坪 徳宏 東京都市大学 教授

岩坂 明 公益社団法人八王子観光コンベンション協会

大澤 亮 公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局

岡泉 幹雄 日本ホテル株式会社 東京ステーションホテル

岡村 篤 株式会社野村総合研究所

坂本 和也 森ビル株式会社・DMO六本木

深津 学治 グリーン購入ネットワーク

安井 基晃 一般社団法人産業環境管理協会

(五十音順・敬称略)

## TOKYO MICEサステナビリティガイドライン ～持続可能なMICE開催に向けて～

発行: 2019年3月

発行 公益財団法人 東京観光財団  
〒162-0801  
東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル6階

協力 東京都  
企画制作/印刷 株式会社プリプレス・センター





**TokyoTokyo** Old meets New

**BUSINESS EVENTS  
TOKYO**